

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 2年 6月30日

作成者：西本佳子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋TIOクラブ	
事業名	日時(期間), 場所
阪神南ふるさとづくり応援事業 異文化交流でつなぐ人の輪 出前音楽交流会と音楽ボランティア養成講座開催	平成31年6月27日～ 令和2年1月20日
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
1 音楽ボランティア養成講座10回連続二胡ワークショップを開催。 器楽演奏を得意技能として演奏技術のスキルを磨き、地域で活動する音楽ボランティア人材の育成をはかった。 2 地域で異文化交流音楽イベントの開催や、老人福祉施設などへの出前コンサートでふれあい交流会を行った。	(803)人
	参加者数
	(110)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
<p>1、ボランティア養成講座で培った特技を生かす音楽ボランティアグループを新しく結成した。交流イベントなど活力あるボランティア活動を実践し地域力として社会貢献をしている。</p> <p>2、ふれあい出前交流会では、昔遊びや古里民話・皆で歌うなど喜ばれる参加型の内容で展開。絵本劇場・ふるさと紀行の上映やかるた・すごろく遊びで、思い出話をする高齢者の笑顔に癒され、ボランティアする人・される人の絆に感動する心豊かな時間を共有できた。</p> <p>3、地域課題解決の仕組みづくりのあしや子ども笑顔ネットは2019年度芦屋市で活躍する個人、団体の支援として「芦人(ろまん)認定」を実施している。Tioクラブは「コンサート、昔遊び、災害関連と多岐にわたりエンターテインメントの宝庫」として芦人認定されました。体験の中で学び問題を発見し新たな実践へ繋げていく繰り返しの大きな力になっています。</p>	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
<p>1、生涯学習・仲間づくりの場としてボランティア養成講座を継続しボランティア人材を育てます。ワークショップでは地域の伝承や昔の遊びを学び、音楽や朗読・腹話術などのワザを磨き誰もが気軽に参加できる異文化交流で、多文化共生を考えるボランティア活動を実践します。</p> <p>2、「芦屋かるた・民話すごろく・ふるさと紀行」などを活用し、高齢者や地域住民とのふれあいや、住み慣れた町の安心や安全な地域づくりに関心を持つ機会となる世代間交流イベントを実施。また地域で活動している他団体と協働で、魅力ある地域づくり活動の充実と活性化を図ります。</p> <p>3、新型コロナウイルス感染防止対策で交流会やイベントがすべて中止となったので、終息後いち早く福祉施設や地域の人々に元気を届ける出前交流イベント再開の準備をしています。元気の出る写真展「いのちの歌～花と小さな虫たち～」の巡回展を企画！ご期待下さい。</p>	